

第11回 横浜・人・まち・デザイン賞 表彰対象決定！

(地域まちづくり部門7件、まちなみ景観部門4件)

「横浜・人・まち・デザイン賞」は、魅力あるまちづくりをより広く進めていくことを目的に、横浜市内で、地域まちづくりに関して特に著しい功績のあった活動や、都市景観の創造や保全に寄与したまちなみを構成する建造物等を表彰しています。

第11回となる今回も、多数の応募をいただき、各部門ごとに委員による選考を行い、表彰対象を決定しました。

表彰式は令和6年5月22日（水）に横浜市役所1階アトリウムで実施する予定です。

地域まちづくり部門

地域まちづくりを推進する活動の主体となる
団体（本賞）とそれを支援する団体
又は個人（支援賞）を表彰



▲ 関内外 OPEN！11「道路のパークフェス」

受賞活動

- 本賞① 日本一小さい!?ローカルメディア「かんだいじナビ」
【神奈川区】
- 本賞② 関内外OPEN！【中区】
- 本賞③ 森ラボ【旭区】
- 本賞④ 産学官協働によるLINKAI横浜金沢の魅力発信と地域コミュニティの創出【金沢区】
- 本賞⑤ NPO法人森ノオト【青葉区】
- 本賞⑥ 舞岡公園自然体験施設（文化体験施設併用）の維持管理
【戸塚区】
- 本賞⑦ ヨコハマ海洋市民大学【中区を中心とした横浜市全体】

※支援賞は、別紙「第11回横浜・人・まち・デザイン賞 受賞活動・受賞景観集」に記載しております。

まちなみ景観部門

地域の個性と魅力をつくりだしている
「まちなみ」や「建造物等」の景観づくり
に貢献した事業者や設計者、施工者等を表彰



▲ まちに開かれた空間を持つ十日市場センター地区



受賞景観

- ① まちに開かれた空間を持つ十日市場センター地区
【緑区十日市場町】
- ② PortPlus大林組横浜研修所【中区弁天通】
- ③ 金沢八景権現山公園と旧円通寺客殿【金沢区瀬戸】
- ④ 久右衛門邸 KYUEMONTEI【戸塚区名瀬町】



「第11回横浜・人・まち・デザイン賞 受賞活動・受賞景観集」を作成しました！

今回の表彰対象の詳細をまとめた冊子を横浜市役所3階市民情報センターや、各区役所の区政推進課広報相談係の窓口などで配付いたします。（別紙参照）

問合せ先

- | | | | |
|-------------|-------------------|-------|------------------|
| 【地域まちづくり部門】 | 都市整備局地域まちづくり課担当課長 | 村瀬 亮二 | Tel 045-671-2665 |
| 【まちなみ景観部門】 | 都市整備局景観調整課長 | 石井 聡 | Tel 045-671-2006 |

【別紙あり】

日本一小さい?ローカルメディア「かんだいじナビ」

活動団体名 **かんだいじナビ**

活動概要

地域には気づかれていない魅力が沢山ありますが、それに会おうきっかけ(情報)が少ないと考え活動を始めました。地域で暮らす人に特化して役立つ情報をポータルサイトで発信し、また、利用する地域住民が「地域ライター制度」で発信側になることで地域貢献できる場も作っています。さらに、地区自治連合会や大学生、農家など様々な方と連携したイベント企画や、地域の特産物を作り販売するなど、リアルなイベントを通じて、転入者も含めた住民同士の繋がりを生み、まちの賑わいの促進にも寄与しています。

表彰理由

まだ活動歴は短いですが、地域ライター・ボランティア等の募集、多国籍翻訳リンクなど、多種多様な住民の「活躍の場」づくりを意識した活動が「ローカルメディア」の域を超えていると評価しました。記事内容も面白く、街の「地域」に対するポジティブな気持ちをすくすく上げるプラットフォームとして、市民・自立・持続する社会活動にさらに発展することを期待しています。

活動場所 神奈川県神奈川郡 神奈川区神奈川町

活動団体の詳細はこちら <https://kandaijinavi.com>



▲一人ひとりの目線で地域の魅力を伝えよう!町のみんなが発信者!「地域ライター活動」



▲情報発信のアレコレをみんなで一緒にお勉強。学習発表も地域へ発信!

活動を支えた個人または団体

- 大場知幸(「Le mitron pains ル・ミトロン」創業者)
- 塚原泉(神奈川県地域づくり大学校総合ファシリテーター)
- 神大寺地区自治連合会 ●片倉地区自治連合会
- NPO法人まち×学生プロジェクトplus

◆支援内容

大場さんからは活動開始の勇気を、塚原さんからは活動継続の知恵を、地区自治連合会の皆様には情報を集めやすい基盤を、まちかけさんからは活動発展への新しい活力をいただきました。皆様の応援が、当活動を継続させるエネルギーとなり、住み良い地域づくりにつながっています。

ホームページ Instagram

関内外OPEN!

活動団体名 **関内外クリエイターズ(任意団体)、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団**

活動概要

関内・関外地区に建築家、アーティスト等のクリエイター集積が進む中、それらの活動を市民に知ってもらう機会として始めました。仕事場を見学できる「オープンスタジオ」や、街なかのクリエイティブを身近に感じるまち歩き「スタジオツアー」、公共空間を活用した「道路のパークフェス」などを通じて、横浜の魅力を発信しながら、市民とクリエイターが交流できる機会を創出しています。また、市内の中小企業等とつながりを深めることや、子ども向けの環境教育イベントに参加するなど社会貢献にも取り組んでいます。

表彰理由

地域に集まる柔軟で新しい発想を活かし、都市における新しい地域とのかかわり方の可能性を示していると思います。また、クリエイターが集積していること自体も地域の魅力の一つになりつつあると思います。これからも地域の様々な方・組織とのつながりを活かして、豊かな文化・コミュニティをなくくみ、横浜の魅力を発信していくってもらえたらと思います。

活動場所 中区関内・関外地区

活動団体の詳細はこちら <http://kannaigai.yaf.jp.org/kannaigai15/>
<https://acy.yaf.jp/org/>



▲関内外OPEN11「道路のパークフェス」



▲関内外OPEN13 会場の様子

活動を支えた個人または団体

- 関内まちづくり振興会 ●関内後通振興会

◆支援内容

道路活用やまちづくり活動の連携などを通じて本活動への理解をいただき、道路など公共空間の活用にも地域としての賛同を得ることができました。また、イベントの周知など、広報協力をいただき、地域住民への認知度向上に大きくつながりました。

イベントホームページ 活動ホームページ

森ラボ

活動団体名 **GROUP創造と森の声**

活動概要

人の手が入らなくなった里山での美術展開催をきっかけに、「アートと森づくりと地域」をテーマに、新たな里山の再生ができなかと考えたことが始まりです。森のイベント開催には資金と、森の手入れが必要です。森民サポートという協賛金を募り、また森づくりボランティアとして、作家やスタッフと共に森のアートイベントを26年開催し続け、森の新たなあり方を模索してきました。活動を通して自然やアートの素晴らしさを多くの人と共有し、森という環境が開かれた集いの場となることを目指しています。

表彰理由

都会に残された貴重な自然環境である里山の森を舞台に、美術展やアートワークショップ、森の再生ボランティア活動を長年続けられています。アーティストや幅広い世代の市民を巻き込んで、みんなで楽しみながら森を育て、守っていくという姿勢に心を打たれました。横浜の森が多くの人に知られ、さまざまな人々が集まる場になっていくことを嬉しく思います。

活動場所 旭区上白根町、横浜動物の森公園、里山ガーデン保全会

活動団体の詳細はこちら <https://morilab.amebaownd.com/>
<https://www.facebook.com/SouzoutoMarinokoe1997>

ホームページ フェイスブック



▲粘土のワークショップ。思い思いの形の土管が完成。作品の前に子ども大人も集合



▲ハードコールを作成する子どもと大人。道で夢中になる森のワークショップ

活動を支えた個人または団体

- 沢田清美(いはるびじゅつ主催)

◆支援内容

美術展中心の企画に子どもが参加できる内容を提案してもらい、私たちのイベントに広がりを与えてくれました。森の活動に子どもたちが参加することで、家族や他のグループとの交流の機会をつくり出し、地域のスタッフや支援者を巻き込みながら、活動を長く続けていくきっかけとなりました。

産学官協働によるLINKAI横浜金沢の魅力発信と地域コミュニティの創出

活動団体名 **NPO法人Aozora Factory**

活動概要

LINKAI横浜金沢には多種多様な企業が多く立地する中、近隣企業間が希薄であること等の課題から、どのように取り組めばこの地域に人が集まり活性化するかを、企業や大学と議論しながら活動が始められました。高い技術やユニークな特徴を持つ製造業が多い地域の特色を生かして体験型のワークショップ等を開催し、地域や企業を知る機会を創出。同区の地域コミュニティ団体とも連携し、子育てや文化芸術などのイベントにも参加し、様々なネットワークの構築を図っています。イベント等への参加者も年々増え、多くの企業や人との繋がりを作り続けています。

表彰理由

これまで企業の魅力は点々と発信されている印象でしたが、地域や大学がその点を結びつけ、面の魅力とした非常にユニークな取組だと感じます。結果「一企業」の枠組みを超え新たな挑戦や企画が生まれることが期待されます。また、地域住民と企業のwin-win関係性や、廃棄される廃材に新たな価値を生み出す活動も、魅力の一つであり、今後の展開・発展が非常に楽しみです。

活動場所 金沢区臨海部(LINKAI横浜金沢)を中心とした周辺地域

活動団体の詳細はこちら https://www.instagram.com/aozorafactory_official/

ホームページ Instagram



▲2017年に横浜金沢産業振興センターにて開催した第2回Aozora Factoryの運営スタッフ集合写真



▲体験型ワークショップイベントで、DIYバライザーからレクチャーを受け、ものづくり体験

活動を支えた個人または団体

- 一社)横浜金沢産業連絡協議会 ●横浜市金沢区地協同組合 ●横浜市立大学 ●関東学院大学

◆支援内容

活動を通して、両大学と産業団地の情報共有や相互理解を支援しました。産学連携を深めた支援効果として、①産業団地が学生のキャリア候補となり就職・転職先になり、②企業活動に学生の新たな視点を与え地域へのマッチング強化が行われ、持続可能なパートナーシップの構築に繋がりました。

NPO法人森ノオト

活動団体名 NPO法人森ノオト

活動概要

「地域や自然と調和した社会と、その担い手を育てる」をビジョンに掲げ、足元の地域での暮らしに目を向けた情報を発信するウェブメディアを立ち上げたことが始まりです。

広告をとらず、読者からの寄付を募るスタイルでメディアを運営し、市民ライターを育てながら地域の人や活動などを取材し発信しています。メディア運営を軸に、地産地消マルシェや資源循環につながる事業を行っています。地域住民による住民のための情報発信を継続し、森ノオトをハブとした顔の見えるつながりを沢山つくっています。

表彰理由

身近な地域の暮らしの情報を発信することで、地域をもっと良くしたいという思いが伝わってきました。地域や自然と調和した社会とその担い手を育てるという理想に向かって日々積み重ねられている活動は、誰もが地域への一歩を踏み出したくなるような楽しさに溢れています。青葉区から始まり、日本全国や海外へもつながる地域メディアのこれからに期待しています。

活動場所 青葉区全域

活動団体の詳細はこちら
<https://morinoto.jp/>



▲子育て世代を中心に、地域多様なメンバーが集まるNPO法人森ノオト



▲市民ライター養成講座

活動を支援した個人または団体

◆中里北部連合町内会

◆支援内容

福祉のネットワーク「気づきの和連絡会」への参加を呼びかけてくださり、協働しながら会の運営、広報誌の制作を行っています。また、連合町内会との連携した活動が、地域での森ノオトの認知、地域団体としての活動の理解を広げてくれています。

舞岡公園自然体験施設 (文化体験施設併用)の維持管理

活動団体名 特定非営利活動法人 舞岡・やとひと未来

活動概要

谷戸の風景を残しつつ市民が自然に触れ合い農体験ができる場を目指して、1993年に舞岡公園が開園しました。

公園では、行政と連携しながら水田の整備等を行い、また、里山の恵みを無駄なく使う体験イベントなどを通して環境保全や生きものの素晴らしさを学ぶ場を提供しています。活動の継続を図るため、「舞岡公園谷戸学校」を開講しスタッフを養成。さまざまな生きものが織りなす豊かな自然の営みが未永く続くことを願い、地域交流の促進を柱に、市民に愛される公園作りを進めています。

表彰理由

舞岡公園における活動は、公園という公共施設における、協働による管理運営の目指すべき姿の一つだと思います。行政とのやり取りなど、様々なハードルを乗り越えて、今の素晴らしい環境が作られていると思います。長年の取組に敬意を表するとともに、これからも素晴らしい谷戸の風景や文化を、様々な人に伝え、次世代へとつないでいてほしいです。

活動場所 戸塚区舞岡公園

活動団体の詳細はこちら
<http://maioka-koyato.jp>



▲田植え体験イベントの様子



▲田の草取りの様子



▲わらわら稲刈り体験イベントの様子



▲脱穀体験の様子

ヨコハマ海洋市民大学

活動団体名 ヨコハマ海洋市民大学実行委員会

活動概要

在住・在勤の市民は、案外海に触れる機会がなく、次世代の子どもたちに海の大切さを語るためには、まず大人が知る必要があると考えたことが始まりです。そして活動を通して、実行委員会に海と陸（海と市民）を繋ぐハブの機能を持たせようとして進めてきました。新規受講生が増えるように工夫し、海への関心が高まる講座や生き物の観察を行いながら、受講生同士のコミュニティも大切にしています。活動を通して、毎日できる小さな行動が沢山生まれることで社会課題が解決することを呼びかけています。

表彰理由

横浜の魅力・特徴である「海」を多様な角度から捉え、様々なプロフェッショナルや、海や水辺をテーマに活動する団体とも積極的に連携し活動されているため、市民の活動への「関わりしろ」が多いと考えます。また、参加者が自身の目標を見つけ、一歩踏み出し、その後も活動に関わり続けていることも大きな魅力であり、これから益々活動が発展することを期待させます。

活動場所 中区を中心とした横浜市全域



活動団体の詳細はこちら

<https://yokohamakaiyouniv.wixsite.com/kaiyo/>



▲講座風景（象の鼻テラス）



▲アクティビティ（真鶴・三ツ石海岸）

活動を支援した個人または団体

◆海岸通アーバニズムラボ
 ◆NPO法人HamaBridge濱橋会

◆支援内容

両団体はメンバーやステークホルダーと融合することなく「人とまち」という横浜のリソースを巧みに繋ぎ成果を生み出す手法に長けており、まちのハブになることの重要性を気づかせて頂きました。また双方の交流によるデータの更新も新しい受講生のために活かされています。

まちに開かれた空間を持つ 十日市場センター地区

概要

「持続可能な住宅地推進プロジェクト（緑区十日市場町周辺地域）」として、公募売却等により、十日市場センター地区市有地のまちづくりを進めています。広場に面したコミュニティカフェや、まちのステージ等のまちに開かれた共用部「シェア共用部」が新たな空間を形成しています。

講評

JR横浜線十日市場駅から南約300mのエリアに展開する大規模住宅地のなかにあり、地域に開かれた活動拠点としてのコミュニティ施設（コミュニティカフェや「シェア共用部」）を、街区のなかにスムーズに埋め込むデザイン手法が非常に優れており、地域の住環境を豊かなものにしていく。

所在地

緑区
十日市場町



【クレールレジデンス横浜十日市場】

●事業者：東急不動産株式会社

【グレースシア横浜十日市場】

●事業者：相鉄不動産株式会社、伊藤忠都市開発株式会社

●シェア共用部企画デザイン監修：株式会社オンデザインパートナーズ

【クレールレジデンス横浜十日市場・グレースシア横浜十日市場】

●設計者：株式会社東急設計コンサルタント

●施工者：株式会社フジタ



PortPlus大林組横浜研修所

概要

PortPlus大林組横浜研修所は2022(令和4)年3月に日本初の高層純木造耐火建築物として建設されました。純木造耐火建築物としては、国内最高となる高さ44m(地上11階建て)です。木材を利用することでCO₂排出量の削減と、環境に配慮した施工を実現すること、耐火性と耐震性を確保する技術を採用すること、木の特性を活かしたウェルネスな空間を提供することが目指されています。

講評

環境保護・改善問題への取組は世界的レベルでのニーズ・要請であり、建築分野においても、その回答のひとつとして「鉄骨コンクリート造」「鉄骨造」から、「木造」に切り替える事によりCO₂排出量の大幅削減、かつ美的にもやさしい表現が出来ている。この建物は、そのチャレンジ精神に敬意を表したい。

所在地

中区弁天通



- 建築主・施工者：株式会社大林組
- 設計者：大林組一級建築士事務所

金沢八景権現山公園と旧円通寺客殿

概要

2022(令和4)年に開園した金沢八景権現山公園は、廃寺となった円通寺の境内に位置し、江戸時代後期から末期に建てられた「旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)」や、東照宮跡などを有する風致公園です。旧円通寺客殿は、特定景観形成歴史的建造物に指定され、茅葺き屋根の保存や建物内部の利活用を図っています。管理休憩棟は旧円通寺客殿の景観を阻害しない山側に配置され、草屋根となっていることで権現山との緑の連続性が感じられます。

講評

金沢八景権現山公園は、京急金沢八景駅から見える斜面地にあり、草屋根の管理休憩棟では四季折々の展示やワークショップ企画が開催され市民の憩いの場となっている。また園内頂上からは茅葺き屋根の旧円通寺客殿御越しに平潟湾を望むことができ、その織りなす景観は、中世に鎌倉の外港として栄えた横浜・金沢の歴史や風土を感じることができる。

所在地

金沢区瀬戸



- 事業者：横浜市
- 調査・設計・工事監理：株式会社建文
- 造園設計：株式会社農村・都市計画研究所、株式会社アトリエ福
- 造園工事：堀江造園株式会社、井原造園株式会社
- 建築工事：馬淵建設株式会社
- 管理棟・施工者：土志田建設株式会社

久右衛門邸 KYUEMONTEI

概要

1836(天保4)年に建てられた築188年の古民家が福祉のフレンチレストランとして、2022(令和4)年にリニューアールオープンされました。庭園には季節ごとに迎える緑や花が施され、敷地内には納屋カフェやチャペルと呼ばれる集会所もあり、障がい者の就労支援ができる福祉事業所に認定されています。また、周囲の里山も整備され、地域の子供たちの環境学習の場ともなっています。

講評

188年の時を経て古民家は来客で賑わう。季節の植物が植栽された庭園に佇むと188年前にタイムスリップしたかのような情緒が感じられる。自然豊かな里山には地域の子どものメッセージが寄せられ、障がい者の方の職場ともなるなど地元からも愛され、まさに福祉と営利を両立した理想的な商業施設である。

所在地

戸塚区
名瀬町



- 事業者：一般社団法人AOH
- 設計者：2.5 architects一級建築士事務所
- 監修・施工者：株式会社民建

第11回 横浜・人・まち・デザイン賞の選考にあたって

地域まちづくり部門

横浜市地域まちづくり推進委員会
表彰部会長

室田 昌子

本賞地域まちづくり部門は31件もの応募があり、多くのご応募とご関心をいただきましたことを心より感謝申し上げます。ポストコロナ時代を迎え、市民の方々のご努力や工夫により市民活動が復活さらに発展したこと、新たな市民活動も開始され、新しいステージへと移行しつつあることを実感させていただきました。

選考にあたりましては、1次選考では、応募書類をもとに公共・地域貢献性、熱意・主体性、住民参加・公開性、創意工夫・獨創性、継続発展性の5つの観点から委員の個別審査をいたしました。2次選考では、各団体への事務局のヒアリング結果に関する情報共有、意見交換を行い、投票によって7団体を受賞決定といたしました。今回応募された活動は、活動期間の長さ、活動の影響の大きさなど多様で素晴らしい活動ばかりであり、選考委員全員で大いに議論しました。

横浜の幅広く力強い市民活動が、本賞を超えて今後ともさらなる進化を遂げることを強く願っております。

まちなみ景観部門

横浜市都市美対策審議会
表彰広報部会長

真田 純子

第11回横浜・人・まち・デザイン賞のまちなみ景観部門は、52件の応募をいただきました。そこから重複等を除いた45件が審査の対象となりました。商業施設や公園・広場、歴史的建造物、まちなみなど、その種類は多岐にわたっています。また、そのほとんどが第三者からの推薦となっており、「良い景観が出来たら推薦しよう」と市民の方々に考えていただける状況が出来ていることを、大変うれしく思います。

選考にあたってはまず書類をもとに12件を見学した後、全案件を対象に各委員が推薦した14件について議論し、4件を選びました。「まちなみ景観部門」と名前についてはありますが、ただ美しいだけでなく、選考基準にもあるように、持続可能な未来や暮らしの豊かさに貢献しているかなど、多角的な視点で議論しました。今回受賞された「まちなみ景観」は、特に市民の皆様からの関心が高く、いずれも横浜の豊かさに貢献するものになっていると思います。